



# 佐藤彰宣『〈趣味〉としての戦争 - 戦記雑誌『丸』の文化史 -』 (創元社、2021年) オンライン合評会

2022年3月23日(水)

13:00~15:30 ZOOM開催  
(延長の場合も16時頃には終了予定)

報告者：佐藤彰宣先生（流通科学大学・講師）

討論者：長崎励朗先生（桃山学院大学・准教授）

司会者：加藤雅俊（立命館大学産業社会学部・准教授）

昭和23年に総合雑誌として刊行され、その後、戦記雑誌化することで発行部数を伸ばしていき、現在ではこの領域において名誉ある地位を占める雑誌『丸』。この『丸』の長い歴史のなかで、戦争はどのように語られ、何が切り落とされてきたのか。この論点は、『丸』自身の変遷を理解するだけでなく、戦後日本における戦争をめぐる社会言説の変化やそこにおけるメディアの役割を理解する上で重要なものと言えるであろう。

この論点に正面から取り組んだ本書において、文化社会学・メディア史を専門とする佐藤氏は、『丸』の誌面の変化を丹念に追い、その社会的背景を確認した上で、趣味の領域における戦争・平和認識に関して社会学的分析を行う。

書評会では、佐藤氏から新著の概要をご紹介いただいた上で、メディア社会学・コミュニケーション論を専門とする長崎氏からコメントをいただき、多角的な角度からディスカッションを行う。

本企画が、戦後日本における戦争をめぐる言説（の変化）やその社会学的意味を考える機会となれば幸いです。

## 事前登録制

参加をご希望の方は、3月21日（月）の17時までに、以下のリンク先もしくは右のQRコードからお申し込みください。合評会前日の13時頃までに、Zoomのミーティンググループのリンク先を送付します。

<https://forms.office.com/r/TWgkUXiLPZ>



問合せ先：加藤雅俊（mkato@fc.ritsumeai.ac.jp）

主催：立命館大学人文科学研究所 重点プロジェクト「グローバル化とアジアの地域」  
共催：科学研究費・基盤研究（B）「「家族主義レジーム」の変容に関する国際比較研究  
- 家族政策の多様化とその因果的背景」（研究代表者：加藤雅俊）